

# 牝川

発行部数 16280  
12212  
7212  
編集 1972.4.20

追越して縮めた時間  
ちぢまる命

## 三月定例町議会終る

三月十一日牝川町定例町議会を招集し、全議案は常任委員会に付託審査を行い三月十八日日本会議を開き、原案通り決議し閉会した。議案の概要は次の通り

- 昭和四十七年度当初予算 二八五、〇〇〇円
- 一般会計 二八五、〇〇〇円
- 国保特別会計 六四、二二八
- 農業共済 一〇、四三三
- 簡易水道 一、一五四
- 給食センター 一六、七三三
- 歯科検診 一、〇五一
- 車両等運営 五、三〇〇
- 計 三八四、九一八

昭和四十七年度町長の行政基本方針の概要

基本となるものは、町内農林業振興に重点を置き、直接的な生活環境の整備、社会福祉の充実、町民連帯意識のための社会教育と学

四十六年度は、ドルショックによる円の切り上げ、貿易等考えていかなかった事態により、地方財政は苦しい状況で、新年度の財政規模も四十六年度を基準にせざるを得ない、従って新年度は九〇%を当初予算に見み補正はあまり考えられないが、財政逼迫によって施策をカットすることは出来ない。農林振興については、答申に基づき、生査、流通面を考慮して行

い、第三農構事業により基盤整備を進めたい、社会生活環境については、道路整備、その他であるが、県道舗装は二ヶ年で終る予定である。道路新設は団体農道で広常、重谷、大駄場線を出来る限り進めたい。

尚、正山線農免事業の二期工事、地区道嘉城線の二期工事丸山線舗装、小倉農道新設を考えている。町道舗装は、事業費三千万円を予定しており、大谷、正山線の一部を実施する予定である。

社会教育については、予算を増額している。予子林地区に公民館的なセンターの建設を予定している。尚町誌へんさんについても、本年度着手したい。

学校教育については、本年度より年次計画で学習機の全面更新を行い、学校教育の効率化を図りたい。中央地区のプールについては、県の許可あり次第着工する。社会福祉については、敬老年金を四十七年度より新設し、八十才以上のご老人に年金五千元を支給する。又給水施設、テレビ受信施設も整備する考である。不燃物の処理については、県の方針等考え合せて、早い機会に整備する。火葬場については、人夫の問題で困難しているが、出来ない場合は

親がする

無理な横断

子がまねる

おしらせ

委託等の方法により解決したい。老人医療は昨年より実施しているが、当町の場合過剰利用は少ないようである。明年一月より国が三分の二、県と町が六分の一を支出して効率的に実施したい。アンマハリ キュウ等の補助は対象年齢を五十五才に引き下げたい。寝たきり老人対策は大洲市に施設があるが、ホームヘルパーを強化して充分な活動を行ないたい。

三、牝川町敬老年金支給条例の制定について  
(支給概要)  
敬老年金を受給できる者は、毎年四月一日現在において、年令満八十年以上の者で、当該年度の一月一日以前から牝川町に引き続き居住する者  
年金の額 五千元とする。  
支給期日 毎年九月十五日とする  
四、牝川町国民健康保険療養給付費支払基金条例の制定について  
国民健康保険の療養給付費の支払を円滑化するため支払基金を設置する。  
基金額 五百万円  
五、牝川町税条例の一部改正について  
六、牝川町中小企業振興資金融資基金条例の一部改正について  
七、その他特別職の給与条例の一部改正、町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、その他非常勤職員の報酬並びに支給方法に関する条例の一部改正等を行った。

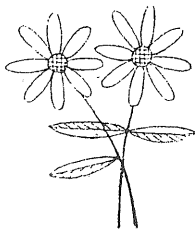
### 運転免許更新時講習の義務化

一 改正道交法  
交通事故の起こる原因の八〇%以上が運転者の責任であると言われており、このきびしい現実から目をそらすことはできません。こうしたことから運転免許証の更新を受けようとする者は、法の改正により、四月一日から公安委員会の行なう講習を受けなければならなくなりました。

つむと、技能も熟練するし、安全知識もある程者定着してきますが一方多くの運転者には次のような悪い傾向が表われてくることも認識しなければなりません。  
一、運転技能については、次第に自己流の悪いくせが習慣化し、自己過信となる。  
二、法令や、安全運転知識については、ごく常識的なものを除いて、自分に負担と感ぜられるようなものは次第に忘れやすくなる。  
こうしたことから運転者に対する再教育の重要性が強調され、運転者の資質を高めるため、免許証の更新者全員が講習を受けなければならなくなりました。

講習を受ける日と場所  
講習は大洲警察署で毎週水曜日の午前九時から(第一・第三水曜日は午後一時から実施)に実施されます。  
更新手続き後二・三週間後の新免許証交付の日におけることとなります。

講習のやり方  
「交通の方法に関する教則」が全員に無償でくばられ、専門の講師によって、視聴覚を中心とした講習、約二時間。

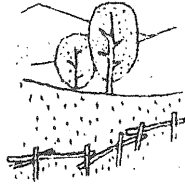


### おしらせ

- 一、妊婦健康相談  
とき 五月十八日 午後一時～三時  
ところ 町公民館
- 二、乳児健康相談  
とき 五月二十五日 午後一時～三時  
ところ 町公民館
- 該当者  
生後二ヶ月とお誕生までの赤ちゃん。  
その他希望者

### 3月のできごと

- |                                  |               |
|----------------------------------|---------------|
| 1日 所得税納税相談(公民館)                  | 28日 上鹿野川料理講習会 |
| 2日 種痘接種(大谷小学校)                   | 29日 農業者年金事務指導 |
| 3日 種痘接種(岩谷公民館)                   | 30日 選挙管理委員会   |
| 4日 ガラガラ電話架設工事完成祝(陽春院)            | " 農業委員会(公民館)  |
| " 母子家庭卒業生徒激励会(公民館)               |               |
| " VYS大洲市喜多郡代表会会議(保養センター)         |               |
| 5日 軍恩連総会(役場)                     |               |
| 7日 観光診断丸山公園鹿野川園地                 |               |
| " 愛大村上節太郎教授NHKテレビ受信関係調査(NHK職員来町) |               |
| " 種痘検診(予子林)                      |               |
| 8日 観光診断(予子林大谷)                   |               |
| " 視聴者委員会(公民館)                    |               |
| " 種痘検診(大谷)                       |               |
| 9日 観光診断(鹿野川岩谷地区)                 |               |
| 10日 種痘検診(岩谷公民館)                  |               |
| 11日 第80回定例議会招集                   |               |
| 14日 町議会本会議                       |               |
| " 農道近代化事業調査指導(元公民館)              |               |
| 15日 議会委員会                        |               |
| " 種痘接種(中野小学校)                    |               |
| 16日 議会総務委員会                      |               |
| 17日 大谷広常グループ衛生教育(大谷生活センター)       |               |
| " 乳牛集団検診                         |               |
| 18日 議会本会議(最終日)                   |               |
| 21日 町常会(役場会議室)                   |               |
| " 種痘検診(中野小学校)                    |               |
| " 遺族会理事会(公民館)                    |               |
| 23日 養蚕婦人部研修会                     |               |
| " 母親学級(公民館)                      |               |
| 25日 卒業式(各小学校)                    |               |
| 27日 民生委員会(公民館)                   |               |
| 28日 婦人会中央分会総会                    |               |



### 肱川土場木材相場表

昭和47年4月8日市

長さ	未口径	すぎ	ひのき	まつ	その他
4.0 m	7cm下	64	64		松パルプ 1.5m~2.1m 未口6cm上 25円00銭
l	8上	65	65		
	12#	56	93		
	16#	60	81	38	
4.2 m	30#	62	113	52	雑パルプ材 1.5m~2.1m 未口6cm上 20円00銭
3.0	7下	60	60		
l	8上	43	43		
	13#	70	118		
3.2 m	16#	70	101		松 箱材 2.1m 未口14cm上 30円~38円
2.0 m	7下	29	29		
l	8上	16	16	25	
	16#	24	28		
2.1 m	30#	36	40	32	
1.0 m	13上	14	18		
6.0 m	13上	81	144		
6m以上	足場	1m付66~99			

本表は、肱川町内の自動車土場の価格です(才当り)故に、運賃や市場手数料など差引いたものです。

### 乾しいたけ相場表

第200回市売状況通知

今回開催されました市売状況は、下記の通りでしたので御知らせします。

記

- |         |          |          |          |          |
|---------|----------|----------|----------|----------|
| 1. 市売月日 | 4月5~6日   | 2. 出品数量  | 1,528点   | 24,740kg |
| 3. 価格   | 高値 3,410 | 中値 2,644 | 安値 1,290 |          |

1. 概況

行楽期に入り、内需も順調に伸び強保合に転じている。特に品薄のドンコ系に人気集り、前回比約150円高となった。今後の市況見通しは多少の波はあるにしても、保合と思料されますが、第2次発生の採取量と消費の伸びが弱題

品柄別価格

上香信	2,800~3,300	中肉変形	2,000~2,400	ジャミ低級品	1,300~
並香信	2,400~2,600	上どんこ	2,900~3,300		1,700
大ハ上香信	2,900~3,300	並どんこ	2,500~2,800	次回市	4月27日
厚肉香信(コー)	3,000~3,400	小玉どんこ	1,800~2,100		5月7日

### 5月分学校給食予定献立表

日	パン 生乳 献立名	黄の食品	赤の食品	みどりの食品	日	パン 生乳 献立名	黄の食品	赤の食品	みどりの食品
		てんぷしほり 働く力となる	たんぱく質 血肉骨になる	かいふんビタミン 体の調子			てんぷしほり 働く力となる	たんぱく質 血肉骨になる	かいふんビタミン 体の調子をよくなる
1月	きつねうどん	うどん	油あげ かまぼこ	人参	17日	うずら豆の甘煮 ウィンナー	さとう 油	とり肉うずら豆	人参
2日	じゃが芋の煮る煮 あんぱん	じゃが芋 マロニー 油 さとう	とりひき肉 ちくわ 油あげ	人参 キャベツピーズ	18日	ホワイトシチュー クラッカー	じゃが芋マロニー 油	牛肉脱脂粉乳 粉チーズ	人参たまねぎスイートコーン グリンピース
4日	菊チーズフライ フルーツサラダ	マカロニ 油	菊チーズフライ スモークミート粉チーズ	キャベツみかん	19日	親子煮 C.L.Cココア	じゃが芋 油 さとう	とり肉たまご 油あげ	人参キャベツ グリンピース
8日	焼きそば	中華そば 油	豚肉 ちくわ	人参たまねぎ	22日	中華そば	中華そば	豚肉てんぷら ちくわ	人参 たまねぎ
9日	ぜんざい ウインナー	白玉粉 小麦粉 さとう	小豆 脱脂粉乳 ウィンナー		23日	いそ煮 ヤクルト	じゃが芋 さとう	油あげてんぷら かまぼこ	米わかめ 人参 グリンピース
10日	厚あげの煮	マロニー 油 さとう	豚ひき肉 厚あげ ちくわ	人参キャベツ グリンピース	24日	フルーツ白玉ソーセージから揚げ	白玉粉小麦粉 油	スモークミート 脱脂粉乳	みかん パインもも 寒天チエリー
11日	①おかし ②ジャムパンけんちん汁	じゃが芋	とり肉 かまぼこ 豆腐 油あげ	ごぼう人参 キャベツ	25日	好き焼風煮 C.L.Cココア	じゃが芋マロニー 油 さとう	牛肉 厚あげ	たまねぎ キャベツ こんにゃく
12日	ちくわの照煮	ごま さとう	ちくわ かまぼこ たまご	人参キャベツ ツマヤン	26日	あじフライ(ソーセージ付) みそ汁	油	あじフライ豆腐 油あげ みそ	キャベツわかめねぎ
15日	ミートソース	スパゲッティ 油	合ひき肉 スモークミート 粉チーズ	人参たまねぎ グリンピース	29日	焼きうどん	うどん 油	豚肉ちくわ かまぼこ	人参たまねぎ キャベツ
16日	白玉もちあつ川みそ汁	白玉もち さとう	きな粉 油あげ 豆腐 みそ	もやし わかめ ねぎ	30日	カレーシチュー ぶどうパン	じゃが芋マカロニ 油	牛肉脱脂粉乳 粉チーズ	人参たまねぎ グリンピース
					31日	あんピロシキ ポテトサラダ	じゃが芋 油 スパゲッティ	あんピロシキ スモークミート 粉チーズ	キャベツきゅうり みかん

※ 材料の都合で一部献立を変更する場合があります。

# 農協だより

547.4.20

## 五月の農作業

### ◎水稲

本年も米の生産調整が行われま  
す。肱川町では、昨年度は目標量  
に対して二一・〇の実績でしたが、  
休耕田の面積が一〇〇ありました。  
米生産調整の目的の一つとして生  
産性の高い農作物への転換という  
こともいわれており、転作可能地  
には飼料作物や果樹・桑などに転  
作するように努めて下さい。

五月は、苗代播種が始まります。  
農協が発行している水稲栽培など  
を参考にし、良い苗を育てて良  
質の米を生産するようにしまし  
よう。  
また、昨年の休耕田の管理不良や  
冬期休耕田の増加等で、ウイルス  
病の多発が心配されますので、苗  
代の場所は、休耕田の近くをさけ  
るとともに防除に力を入れること  
が大切です。

### ◎酪農

青刈飼料が多く生産される時期  
ですが、これを多給すると牛乳が  
増える反面体重が減り、軟便にな  
りやすいため、牛体の手入れが不  
十分にならないようにしまし  
よう。  
やわらかい青刈飼料には、乾草か  
稲ワラを二〇〜三〇％混用したり、  
麦類を多目に与えることも必要で  
す。クローバーやレンゲなどを多  
給すると、急性鼓張病などになっ

て思わぬ事故を生じることもある  
ので、注意して下さい。

飼料作物のトウモロコシや、ソ  
ルゴーなどを播種する時期です。  
トウモロコシは、畦巾・株間が狭  
いと倒伏しやすいので注意する。  
ソルゴーは、干ばつや、倒伏にも  
強いので畑地に播くと良い。  
なお排水良好な肥えた田では、ト  
ウモロコシとソルゴーの混ぜまき  
をすると、一番刈りがトウモロコ  
シ、二番刈り、三番刈りはソルゴ  
ーというところで収量を高めること  
ができます。

大洲農業改良普及所

### 養蚕部

### 春蚕飼育に備えて

最近農構事業等により、肱川町  
も一トン以上の繭を作られる方が  
多くなって参りました。  
このような大形養蚕農家は年間  
総収入の半分以上を繭代にたよっ  
ています。

違作でもすれば、一年間の生活  
が大変苦しくなります。次の事を  
良く注意して豊作で繭増産に励み  
ましょう。  
一、蚕室、蚕具の完全消毒

先ず洗滌できるものは良く洗  
ってホルマリン一〇倍液か、  
PPS等で消毒し、病原菌を撲  
滅致しましょう。

### 二、屋外条桑育の実施

施設は早目に準備して全量条  
桑育とし、余り厚飼いにならぬ  
様充分なる面積の確保を行い、  
飼育の省力化をはかりましょう。

### 三、間引収穫の実施

収葉量の増加と葉質の良化を  
図るため、間引収穫を行い繭質  
の向上につとめましょう。

### 四、夏肥の予約と早期施肥

夏肥はなるべく早く施肥する  
よう肥料の予約注文して準備致  
しましょう。

### 購買

### 水稲農薬予約申込

苗代時期になり、それぞれの作  
業計画もたてられたことと思いま  
す。今年も暖冬異変で、病害虫の  
発生が心配されがります。防除  
に当っては最も少ない農薬を上手に  
使って公害を少くしたいものです。  
最近では特に化学農薬による公害問  
題が多く起っており、農薬の  
取扱いは安全使用基準を良く守り、  
心配のない良質米を生産されたい。  
農薬は取扱を間違えると、大変恐  
ろしいことになり、充分気を  
つけていたいただきたい。

尚農薬の受渡しも厳しく規制さ  
れており、一般荷物との積合せが  
出来ません。水稲農薬は申込書に  
よって別便で、一斉配達する予定  
であり、お配りしてある防除  
指針を良く見て最低必要量の予約  
をお願ひ致します。

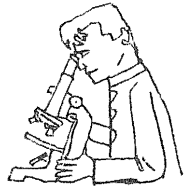
申込書は部落長さんにお送りし  
ます。農薬は買受書に印鑑が必  
要ですから、必ず印鑑をお願ひ  
致します。除草剤PCPは使用  
出来なくなり、また、除外し  
ます。

### 農機具一斉点検について

一年中で最も農機使用の多い時期となりました。  
農機を調子よく、フルに使って戴くために、農機具一斉点検を  
左記日程により、実施致しますので、最寄りの点検場所にお出  
かけ下さい。

日	時間	農機具センター
五月 八日	九時〜十二時	農機具センター
五月 九日	十三時〜十七時	岩谷橋
五月 十日	九時〜十一時	小藪野仁山橋
五月 十日	十二時〜十四時	岩谷橋
五月 十一日	九時〜十一時	中野 三島様
五月 十一日	十二時〜十四時	中居谷弁天
五月 十一日	十五時〜十七時	津之内 曲田
五月 十一日	九時〜十一時	高砂
五月 十二日	十二時〜十四時	白石集会所
五月 十二日	十五時〜十七時	大平橋
五月 十二日	十時〜十二時	大谷支所前
五月 十二日	十三時〜十七時	中津
		予子林支所裏

協刀メーカー 井関農機 サトー農機 共立農機  
点検料 無料  
プラグ ピン等の消耗部品の販売も致します。



### 五月分集配予定日

日	曜日	地域	担当者
5月 2日	火	月野尾	おやぶ
5月 4日	木	宇和川南部	
5月 9日	火	宇和川北部	
5月 11日	木	大谷方面	
5月 13日	土	谷口方面	
5月 16日	火	月野尾	おやぶ
5月 18日	木	宇和川南部	
5月 23日	火	宇和川北部	
5月 25日	木	大谷方面	
5月 27日	土	谷口方面	
5月 30日	火	月野尾	おやぶ

### 醬油部

5月 4日	金	大谷
5月 12日	金	おやぶ 谷口
5月 19日	金	宇和川

# 世界の

## 「全農」発足す

全国農業協同組

合連会 会長 三橋 誠

全購連と全販連の設立は戦後の日なお浅い昭和二十三年にさかのぼりますが、日本全体が敗戦の痛手から立ち直ることができず、加えて極度のインフレの嵐にさいなまれて経済不安はつづける一方でありました。農業は国民食糧の確保を至上命令として課せられた戦時中から引きつづき、食糧増産に努力を重ねてきました。このように農家の実情を背景として両連の事業が始められました。

しかも農協の経済事業はインフレにつづくドッジ・ラインによる領軍の財政・経済政策によって重大な影響をこうむりましたが、われわれは農協運動の旗のもとに固く結束し、あらゆる辛苦に耐え、これを克服して、海外協同組合との直結取引による原料購買の開拓、系統共販事業の建設など事業路線の設定、強化に成功しました。いまわれわれは第二の出発点に立たされています。日本農業が大きな転換がせまられているとき、農協もまた、その組織のあり方に深い反省を加え、勇敢な脱皮にふみ切る必要がります。この時にあたり、全購連と全販連は合併し、三月三十日をもって全国農業協同組合連合会（全農）として、新しく発足することになりました。全農設立の最大眼目は系統の販売力を強化し、総会三カ年計画のめざす生産・販売一貫体制の強化

に努め、新時代に対応する市場の開拓、生活事業の飛躍を期することであり、このためには会内の融和を第一とし、官僚化をいなしめ、協組間の交流、提携を国内内外に推進して健全経営の維持に努力し、かくして、組合員の期待に応え、国民経済の発展に資することができると信じます。

全農の当面する最大の課題は、何と云っても再建の融和と一体化を速やかに実現することにあります。これまで両連に上せられた各界からの暖かいご指導と、ご協力に心から感謝の意を表するとともに「全農」にたいし、いっそうのご支援をお願いしてございさつといたします。

### 事業推進の基本方針

- (1) 農業生産への総合的対応
  - ① 米麦生産の集団化を促進、米麦の生産性・商品性の向上をはかる。
  - ② 野菜・果樹主産地への総合的推進をはかるとともに、市場対応を強化する。
  - ③ 畜産団地を中心に、計画生産、計画販売体制を確立するための諸施策を強化する。
  - ④ 流通対策の強化と加工・生産体制の充実
  - ⑤ 物統令廃止等をめぐる情勢の変化に対処するため、自主流通米の拡大と食糧配給事業の強化をはかり、あわせて農業倉庫経営についての諸対策をすすめる。
  - ⑥ 大消費圏に対する販売体制を強化するため、センター集配等の

③ 取扱品目・取扱条件・価格体系の整備ならびに取扱部署の整理統合など業務改善をはかり、事務合理化をすすめる。

④ 関連会社に対する投資の計画化、効率化をはかるため関連会社管理を強化する。

⑤ 人事・労務管理を刷新し人的資質の有効活用をはかり労働生産性を高める。

(3) 市場開拓・新規事業の促進  
流通革新や都市化の進展に対応して、物流対策および農畜産物の販売対策の強化、新市場の開拓をすすめるとともに、リーマ事業の活用等により系統経済事業体制の整備をはかる。

(4) 生活事業体制の強化  
農村の経済圏の拡大と農家生活の都市化に対応して、近代的店舗網の整備とチェーン化の促進、自動車取扱体制の強化、燃料の自主取扱体制の整備、住宅事業体制の確立をはかる。

### 管理運営の基本方針

- (1) 事業体制の充実・強化  
全国連に課せられた専門的機能の強化をはかるとともに本所における総合企画機能ならびに支所における地域対応機能を充実する。
- (2) 総合的経営管理体制の確立  
① 部門別責任体制を明確化し効果的な事業運営体制を確立する。  
② 予算管理体制を確立し、予算率の効率的運用をよめる。

日本の中国からの輸入実績 1970年

	輸入量	輸入額
くり	13489 t	34億6千円
干柿	2619 t	2億7千円
砂糖で調整した果実、果皮	1242 t	1億4千円
干ぶどう	1112 t	1億円
乾燥野菜	1060 t	7億9千円
調整した野菜	1494 t	2億4千円
塩水漬野菜	2640 t	1億円
調整したグリーンピース	1186 t	9千円

### 中国の農業情勢と

#### 日本農業への影響

③ 取扱品目・取扱条件・価格体系の整備ならびに取扱部署の整理統合など業務改善をはかり、事務合理化をすすめる。

④ 関連会社に対する投資の計画化、効率化をはかるため関連会社管理を強化する。

⑤ 人事・労務管理を刷新し人的資質の有効活用をはかり労働生産性を高める。

(3) 系統経済事業の刷新  
本会の発足を機会に、本会の事業体制の充実強化と並行して、系統経済事業体制の刷新系統各段階の機能のあり方の検討、ならびに他団体との機能調整をはかる。

(4) 長期経営計画の樹立  
系統経済事業の刷新と本会の事業発展をはかるため、新事態に對する長期経営計画の策定に着手する。

### 青果物

一、中国の生産事情  
国土が広大なため、品目も豊富であり日本で生産される青果物のほとんどが生産されているといわれる。

果物・りんご、梨、ぶどう、さくらんぼ、みかん、栗、くるみ、バナナ、パイナップルなど  
野菜・玉ねぎ、大根、人参、ねぎ、キャベツ、カリフラワー、里芋、なす、トマト、きゅうり、たけのこ、にんにく、白菜など

二、中国の貿易事情  
香港、マカオ、シンガポール、マレーシアなど東南アジア諸国を中心に輸出しており、日本にも、千四百万\$（五〇億円）程度はいつてきている。

主要輸出品目・りんご、みかん、バナナ、栗、果物缶詰、野菜缶詰

三、日本農業との競合関係  
現状ではとくに競合はみられないが、中国は青果物の輸出に積極的な姿勢をみせているといわれており、将来その気になつて輸出に力を入れてくれば、日本の果物に影響が出てくることも考えられぬではない。

果物・りんご、みかん、白桃などは極めて美味といわれており、それらは植物防疫上、生果のままの輸入は禁止されているが、缶詰、瓶詰の形で輸入されることが考え

られる。バナナも、広東省を中心に増反中の模様で距離的にも近いので、フィリッピン産に代って輸入されることになる。

パイナップルも、広東省を中心に増反されており、将来沖繩産パイナップルに影響がある。

野菜・生鮮野菜の輸入は、当面精々一千万程度（国内生産野菜生産量一五〇〇万の〇・七〇）で輸入の急増は考えられず国内市況への影響はほとんどない。

輸入時期も、品質、鮮度、輸送コストなどの問題があつて国内市況が高騰する冬季に限られよう。

